

2016年8月28日(日)朝10:10～
8月第4公同主日礼拝式説教

聖霊降臨節第16、役員会等
日本アライアンス庄原基督教会

説教題：天における大讚美と仔羊礼拝

聖書:ヨハネの黙示録 5章8～14節

＜口語訳＞

新約聖書391～392頁

ヨハネの黙示録 5章8～14節

＜新共同訳＞

新約聖書458～459頁

ヨハネの黙示録 5章8～14節

＜新改訳第3版＞

新約聖書482頁

ヨハネの黙示5章8～14節＜塚本訳＞

新約聖書788～789頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」とありますように、神の御子イエス・キリスト様が、天使を通して(1)、長老・使徒ヨハネに与えた「神の国到来の奥義」の黙示で、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代に記録されたものと理解されています。
- ◇ヨハネ黙示録1章では、神の御子イエス・キリスト様の再臨信仰を持って生きるキリスト者への励ましのことばと黙示の神の御子イエス・キリスト様の愛の思いが啓示され、2章1～3章22節は、エペソ教会ほか7つのアジアの教会への手紙で、4章1～11節は、「天の玉座・御座」とその周辺の光景描写、4つの生き物の讚美、「天の玉座・御座」と24人の長老の讚美、5章1～7節は、「天の玉座・御座の父なる神の右手にある封印の巻物」を開封でき、その「巻物」を受取る屠られた仔羊(羔羊)描写です。
- ◇ヨハネの黙示録5章8～14節は、「天の玉座・御座」の前での天の大讚美と仔羊(羔羊)礼拝の描写です。

本論；

◇本日、ヨハネ黙示録第5章8～14節から主の使信に思い・心をとめます。

◆黙示録5章8～10節；ヨハネは、仔羊(羔羊)が巻物を受取った時の四つの活物と24人の長老たちの大讚美がささげられるのを見ました。

◇8～14節；塚本訳◆新しい讚美の歌

「8 彼がその巻き物を受け取った時、四つの活物と二十四人の長老とは、各々豎琴と香の一杯入っている金の鉢とを(手に)持って——この香は聖徒の祈りである——仔羊の前に平伏し、

9 新しい(讚美の)歌をうとうて言う——貴方は巻き物を受け取り、その封印を開くに相応いたもう。貴方は屠られ給うて、その血(の値)によって凡ての種族と国語と民と国民と(の価)から人を神のために買い、

10 これをわれらの神のために王国(の民となし、)また祭司となし給うたから。彼らは地上に王となるであろう」と、ヨハネは主からの第2の幻の続きを啓示された。

◇ 8～10節；四つの活物と24人の長老たちが「各々豎琴と香の一杯入っている金の鉢とを(手に)持って」、「仔羊の前に平伏し」、「新しい(讚美の)歌い」、「貴方は巻き物を受け取り、その封印を開くに相応いたもう。貴方は屠られ給うて、その血(の値)によって凡ての種族と国語と民と 国民と(の価)から人を神のために買い」、「これをわれらの神のために王国(の民となし、)また祭司となし給うたから」、「彼らは地上に王となる」との告白をヨハネは見ました。

⇒ヨハネは、四つの活物と24人の長老たちの大讚美と仔羊(羔羊)礼拝を見ました。

⇒「その血(の値)によって凡ての種族と国語と民と 国民と(の価)から人を神のために買い」、「これをわれらの神のために王国(の民となし、)また祭司となし給うた」、「彼らは地上に王となる」という神の恵みの約束の告白をヨハネは聞いたのです。

⇒四つの活物と24人の長老たちには、神の仔羊(羔羊)が、だれも開くことのできない巻物を受取って下さったことに感動したのです。

◆ 黙示録5章11節 ;ヨハネは、次に**天使たちの大讚美がささげられるの**を見ました。

◇ 8～14節 ;塚本訳◆ **新しい讚美の歌**

「11 また私は見た。そして、**玉座と活物と長老との周囲に、多くの天使の声を聞いた。その数は千々万々であって**」と、ヨハネは**主からの第2の幻の続き**を啓示された。

◇ 11節 ;「**玉座と活物と長老との周囲**」で、「**その数は千々万々の多くの天使の声**」をヨハネは、「**聞き**」、**讚美の姿**を「**見た**」のです。

⇒ **天使たちは、罪からの救いは必要ありません**ので、**その大讚美は、四つの活物と24人の長老たちの大讚美**に共感し、共鳴するものであったのでしょう。

⇒ **讚美にも、多様性があり、四つの活物や24人の長老たちの感動の大讚美**に、**天使たちの共感、共鳴**が、大合唱を生みました。

⇒ 教会の**讚美**も、多くの聖徒たちが、それぞれの生活の現場で、「**神の巻物**」を受取った恵みに感動して作詞、作曲して下さった讚美歌に**共感、共鳴**して**礼拝讚美**としてささげています。

◆ 黙示録5章12～13節 ; ヨハネは、天や地上のあらゆる生き物が大讚美がささげられるのを見ました。

◇ 8～14節 ; 塚本訳 ◆ 新しい讚美の歌

「12 大声で(仔羊を讚美して)言うた一屠られ給うた仔羊こそ、権能と富と知恵と権力と栄誉と栄光と讚美とを受くるに相応いたもう。

13 そして、天と地と地の下と海の上に
[ある] 凡ての造られた物と、その中にある
凡てのものとが(これに応えてこう)言うのを
私は聞いた——願わくは、玉座に坐し給う
者と仔羊とに、讚美と栄誉と栄光と統治と
が、永遠より永遠にあらんことを！

14 「アーメン」と四つの活物が言うた。そして
長老が平伏して拝した」と、ヨハネは主からの
第2の幻の続きを啓示された。

◇ 12～13節 ; 天使たちが「大声で(仔羊を讚美して)言うた一屠られ給うた仔羊こそ、権能と富と知恵と権力と栄誉と栄光と讚美とを受くるに相応いたもう」と讚美し、「天と地と地の下と海の上に[ある] 凡ての造られた物と、その中にある凡てのものとが(これに応えてこう)

言い、「願わくは、玉座に坐し給う者と 仔羊
とに、讚美と栄誉と栄光と統治とが、永遠より
永遠にあらんことを！」と天の大讚美に参加
するのをヨハネは、「聞いた」のです。

⇒天の大讚美への共感、共鳴が、「天と地と地
の下と海の上に[ある]凡ての造られた物と、
その中にある凡てのもの」の讚美を巻き込み、
さらなる大讚美・大合唱へ導かれる姿を描い
ています。

⇒一般に、教会の礼拝では、同じ讚美歌を
ユニズンで讚美しますが、讚美歌集は、何時
でも、何処でも、大讚美・大合唱ができるよう
に作曲されています。

⇒讚美指導者が与えられた教会では、聖歌隊
等を結成して、どの礼拝でも、ソプラノ、アルト、
テノール、バス、あるいはバリトンに分かれて
の讚美がささげられ、礼拝讚美に共感、共鳴
する工夫がなされています。

⇒14節は、12～13節の「共感、共鳴の
大讚美」締めくくりの告白でしょう。

⇒神と仔羊(羔羊)への大讚美は、神への期待と
感動への共感、共鳴が生み出すものです。

結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」とありますように、神の御子イエス・キリスト様が、天使を通して(1)、長老・使徒ヨハネに与えた「神の国到来の奥義」の黙示で、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代に記録されたものと理解されています。
- ◇ヨハネ黙示録1章では、神の御子イエス・キリスト様の再臨信仰を持って生きるキリスト者への励ましのことばと黙示の神の御子イエス・キリスト様の愛の思いが啓示され、2章1～3章22節は、エペソ教会ほか7つのアジアの教会への手紙で、4章1～11節は、「天の玉座・御座」とその周辺の光景描写、4つの生き物の讚美、「天の玉座・御座」と24人の長老の讚美、5章1～7節は、「天の玉座・御座の父なる神の右手にある封印の巻物」を開封でき、その「巻物」を受取る屠られた仔羊(羔羊)描写です。
- ◇ヨハネの黙示録5章8～14節は、天の大讚美と仔羊(羔羊)礼拝の描写です。

- ⇒**神の仔羊(羔羊)**が、「**神のさばきの封印巻物**」を受取った時(7)、**天の栄光の御座**では**四つの活物**と**24人の長老たちの感動の大讚美**がささげられました。
- ⇒それに**天使たちが**、**共感、共鳴し、大讚美**に連なりました。
- ⇒そして、「**天と地と地の下と海の上に[ある]**凡ての造られた物と、その中にある**凡てのもの**」が、**大讚美**に加わり、**大合唱**となりました。
- ⇒「**天と地と地の下と海の上に[ある]**凡ての造られた物と、その中にある**凡てのもの**」は、地上の教会も含めて、「**凡ての種族と国語と民と国民と(の価)から人を神のために買い**」、「**神のために王国(の民となし、)また祭司となし給い**」、「**地上に王となす**」との**神の恵み**も、用意されていることを知って、**大讚美**に加わり、**大合唱**を形成しています。
- ⇒**神の巻物**を受取る**神の仔羊(羔羊)**は、(頸に**疵のある**)「**謙遜**」なお方でありつつ、「**七つの角、7つの眼、7つの霊**」をもつ、「**全知全能者**」であり、「**王、祭司、預言者**」として、「**威光、権力**」をもつお方です。